

3・27 市東さんの農地守れ、第3滑走路阻止訴え

成田ニュータウンをデモ



百貨店ボンベルタ（左）前を行進する
720 人の労農学市民。多くの住民の注
目を集めた（3 月 27 日）

3 月 27 日、反対同盟は全国集会を初めて成田ニュータウン内の赤坂公園で開催しました。720 人の労農学市民が集まりました。ニュータウン住民の飛び入り参加もありました。集会には労働組合、農民団体、学生など多彩な人びとが集まると共に、闘いの 50 年を表す写真パネル 21 枚が展示され、興味を集めました。

多くの住民注目の中を

福島から、沖縄から代表がかけつけました。そして、「最高裁による市東さんの農地取り上げを許さない」「第3滑走路阻止」「安倍政権の戦争政治を止めよう」とアピールを行いました。ボンベルタ前から JR 西口近くまで行ったデモをニュータウンの多くの住民が注目していました。次は 7 月 3 日の「三里塚闘争 50 周年イベント」です。皆さんの参加を訴えます。

安倍政権の戦争政治に抗議の声あげる

三里塚闘争 50 周年記念

7・3 イベント・集会へ

- 7 月 3 日（日）写真展～三里塚の映画～集会
- 東京・すみだ産業会館（JR 錦糸町駅近く）

第3滑走路を推進する「4者協」弾劾

次回会合での位置決定許すな

国交省、NAA、県、地元 9 市町による第 3 回目の「4 者協議会」が 3 月 29 日、成田市内のホテルで開かれました。NAA は、現状 23・5 万回の年間発着回数を 50 万回に拡大するために 2020 年代半ばに第 3 滑走路建設する案を報告しました。

「30 万回化」の目標すら実現できていない現状で、何が「50 万回化」でしょう。見え透いたウソであることは明らかです。にもかかわらず、空港利権にむらがる「4 者協議会」は今回、空港の敷地面積は現在より 600 ㌦広い 2 千㌦規模が必要だという NAA の報告を了承し、スケジュールにまで言及しました。さらに、次回会合で騒音コ



3月29日に開かれた3回目の「4者協議会」ではNAAによって「2000㌦の敷地が必要」なる報告が了承された（同協議会を報じる新聞各紙）



3月29日に行われた第3回目の「4者協議会」（成田市内のホテル）

ンターや位置決定について報告するとしたのです。第3滑走路建設計画は深夜便のさらなる延長、B滑走路 1000 ㌦延伸と一体です。芝山町・旧下総地区はじめ騒音下住民の怒りは爆発寸前です。

成田は内陸空港です。騒音から住民を守る対策は大前提です。住民を犠牲にして進める第3滑走路建設など一片の正当性もありません。次回、4者協議会開催を阻止しましょう。住民の怒りで「第3滑走路計画」を包囲し、次回会合での位置決定を粉砕しよう。

反対同盟と支援は3月26日、反原発集会に参加すると共に市東さん署名を集めた



市東さん署名が前進

3月26日、反対同盟と支援は東京・代々木公園で行われた3万5千人参加の反原発集会に参加しました。同時に、市東さんの最高裁署名を訴え、758筆の協力を得ました。市東さんの最高裁あて緊急署名は、4月15日現在、1万7034筆。近く、2回目の最高裁提出行動を行います。

TPPに反対する市民団体などの呼びかけで取り組まれた国会闘争に参加（3月30日）



「今国会断念」の危機 TPP協定 阻止できる

TPP協定が発効しない危機を迎えています。アメリカで、労働組合を先頭にした反対運動が高まり、大統領選挙候補者の全員が「TPP反対」を表明するという事態になっています。1994年に、アメリカ、カナダ、メキシコの間で締結されたNAFTA協定が、一部多国籍企業のためにアメリカとメキシコの労働者を低賃金で競わせる内容であることが露呈したのです。そのため、その拡大版であるTPPに反対が強まっています。

「聖域守った」ウソ露呈

日本でも、「聖域5品目は守った」などの安倍政権のウソが、5500円にも上る協定文を解説した市民グループの努力で暴露されました。また、国会でも情報をまったく開示しない政権に対して、世論の批判が高



共闘団体の全国農民会議はビラをまいて三里塚闘争を訴えた

まり、今国会での批准を阻止できるところまで安倍政権を追いつめています。3月30日には国会前闘争が闘われました。毎月第1火曜日の闘いも継続されています。TPPの批准は阻止できます。全国の農民、労働者、市民の怒りを集め、一部大資本の利益のためのTPPの批准を断固阻みましよう。



市東孝雄さんの音頭で乾杯。この後、カラオケ大会を楽しんだ（4月10日 三里塚第1公園）

団結花見会で英気養う

反対同盟は4月10日、三里塚第1公園で、恒例の団結花見会を楽しみました。動労千葉はじめ労組、反原発を闘う福島在住の住民、学生など60人が集まり、激戦の疲れをいやす宴で英気を養いました。ジンギスカン鍋に舌鼓をうち、カラオケセットを持ち込んでの歌の競演、住民との交流で時を忘れる集いを過ごしました。

地域住民の声

成田～芝山～多古～

成田市旧大栄町の住民から意見を頂きました。「内陸空港であることを忘れたかのような言動が横行している」「原発は矛盾だらけ」という怒りの声です。

内陸空港であることを踏まえた住民対策を

旧大栄町・自営業（男性）

「空港機能の強化」と称した騒音拡大の動きに一番納得いかないのは、いつの間にか成田が内陸空港であることを忘れ、NAAと航空会社の都合だけを優先していることだ。都心から 70 ㌾も離れた内陸に空港をもってきたことからして無理がある。その上で、もう一本の滑走路や深夜便

の延長などを言うのであれば、騒音下住民の要望を百パーセント受け入れること。落下物への命に関わる不安感には彼らでなければ分からない。「危険だから移転させてくれ」という要求は切実だ。それを「法律がない」の一言で片づけたのでは、住民の理解は得られない。まず住民の不安、怒りに寄り添うことが出発点だ。

原発は矛盾だらけ、やめるしか方法はない

旧大栄町・農業（男性）

政治家というのは信用できないという思いが強い。原発問題もそう。「トイレのないマンション」という言葉を聞いたが、それが根本問題でしょ。輸出してもうけるだとか、いざという時に核武装できるようにとか、思惑があるんだろうけど、とんでもないよ。廃棄物の処理ができないんだからどんな理由を並べたって原発は正当化できない。昨日熊本で大きな地震が起きたじゃないか。川内原発も危ないよ。

3・21

福島原発事故告発の映画「A2-B-C」上映会好評



2 回の上映の幕間に福島現状を話す
椎名千恵子さん（3 月 21 日 JR 駅
前 成田スカイタウンホール）

日本在住のアメリカ人監督が福島第一原発事故以降の福島子ども達を追って、告発したドキュメンタリー映画「A2-B-C」の上映会が 3 月 21 日、JR 成田駅前のスカイタウンホールで開催され、70 人の参加を得て好評を博しました。福島からかけつけて報告してくれた椎名千恵子さんのお話にも参加者に感銘を与え、多くの方がアンケートに答えてくれました。「ちゃんと怒りましょう」「自分も保養に協力を」などの感想を書いてくれました。